NPO 法人 静岡情報産業協会

2019 年度 6 回理事会 議事録

開催日時：令和元年 10 月 29 日（火） 16:00～17:30
開催場所：静岡商工会議所 401会議室
出席者：（理事）森永春二副理事長（議長）、久保田光二副理事長、岸本道明、
漆畑晃司、小林裕敏、白崎利哉、村松克己、渡邉治彦
委任状：石井潔、斎藤弘幸、北川幹根、稲葉豊穂、（以上、敬称略）
欠　席：（監事）上田和博、小谷勇、吉兼正哲　（相談役）鈴木佐太郎
（オブザーバー）佐藤征教（静岡市商工部経済政策課参事兼課長補佐）、
前田憲吾（同課主事）、新庄大輔（静岡市総務局 ICT 推進課副主幹）
事務局：桜井俊秀

開会
オブザーバー紹介

佐藤課長補佐のご紹介に続いて、静岡市総務局 ICT 推進課新庄様副主幹からは、静岡市の ICT 推進の現況説明と、改めて SIIA との連携に期待する旨の挨拶があった。

森永副理事長あいさつ（要旨）

浜松市の NPO 法人浜松ソフト産業協会と浜松市産業部で今期から実施された中小企業向け事業「浜松市域の中小ものづくり IoT 促進事業」について補助金事業の事例紹介するが、その反省点として、「①ユーザーの困りごとが掴み切れていなかった、②ベンダー側が難解な用語を使うためユーザーに十分な理解が得られなかった」いう点があげられるが、このようなことは SIIA にも同様のが言えるのではないかと思い、来年に向けて上記の反省を踏まえて事業を行きたい。

議事　森永副理事長が議長に就任し、以下の議事に入った

1． 報告事項

① 事務局報告

（1） 市・県関係機関訪問

1. 静岡市企画局企画課（長島副主幹） ⇒ ICT 推進課にて面談
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000457.html

2. 静岡県経営管理部 ICT 推進局 ICT 政策課（課長以下 3 名と懇談）
⇒「自治体 Pitch」（地方自治体向けの共同利用可能なシステム等プレゼンテーション）の県内ベンダーへの呼びかけと参加依頼
https://cio.go.jp/jichitaipitch
3. （公財）静岡県産業振興財団 （IoT 研究会 長井ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ）
4. 静岡県国際経済振興会（SIBA）（パンフレットを置いてもらう）
5. 静岡県中小企業団体中央会（パンフレットを置いてもらう）

（2） 静岡理工科大学理工学部に、「ドローン用ソフトウェア開発技法」の講演等について打診 ⇒ 田村特任講師より「引受け可能」との回答）

（3） 深圳市駐日経済貿易代表事務所 冷岡倍華副所長とコンタクト開始
＊以上については、添付の事務局報告（補足）を参照ください。

（4） Web 申込み機能開始（「RPA 講座」より）

② 運営委員会報告

（1） 人材育成・教育研修部会

1） 静大提携「オブジェクト指向設計講座」終了
・13 名受講
・アンケート回答内容（別紙参照）は、概ね好評を得ている
・次年度も継続の意向（静大 HEPT 塩見教授）

2） 高校生向け出張講座
・島田商業高等学校を対象に実施する
・11 月 18 日（月）、21 日（木）、22 日（金）から決める
（部活の時間帯を利用）
・参加：SBS 情報システム、静銀ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰｻｰﾋﾞｽ、静鉄情報ｾﾝﾀｰ

3） IT 技術者ビジネス講座「RPA 講座」（案内開始）
・開催日時：11 月 30 日（土）10:00～16:30
・会場：中村学園静岡電子情報カレッジ
・受講人数：15 名限定
・受講料：（ICT 会員 3 万円、一般会員 4 万円、非会員 5 万円）
・講　師：LTS 杉浦氏に依頼

4） 小中学生向けプログラム教室
・開催日時：12 月 21 日（土）午後　90 分間
・会　場：中村学園静岡電子情報カレッジ
・受講人数：15 名
・受講料：無料
・講　師：コサウェル五十嵐氏に依頼

5） 第 2 回会員ニーズセミナー「QR コード決済システム」
・開催日時：未定
・会　場：未定
・受講料：（ICT 会員 0 万円、一般会員 0 万円、非会員 0 万円）
・講　師： 未定

（2） ビジネス・マッチング部会
1）（仮称）Kintone Café
・Café スタイルのコミュニティーの中からニーズ発掘を目指す
・会員交流、行政交流、異業種交流の実現を図る
・会員企業以外に、一般、市、商工会議所との連携
・開催日時：未定
・会　場：未定

＊静岡商工会議所とも密接な関係を保つために、この Kintone Café の実施から可能性が広がることが考えられる。既に、部会の山口さんが、SIIA 理事の稲葉さんと面談されたとのことで、それを受けて本日の事業部会で、詳細について議論され、初年度は SIIA が主体となって、実施に向けて先ずは「合同説明会」（趣旨説明会）のような形で始めたらどうか、ということになり、次年度以降引き続き静岡商工会議所とも相談しながら連携して事業展開することをめざす。ただし、Kintone は「ツール」のひとつであり、目的はユーザーのニーズ発掘であることから、Kintone に固執するものではなく、並行して最適ツールの検討も進める。

2）第 2 回会員ニーズセミナー「会員交流会」
・人材育成・教育研修部会と連携
・開催日時：（第 2 回会員ニーズセミナー当日 17:30～19:00）
・会　場：未定

（3） 人材開拓推進部会
1）「Web セミナー」
・SBS からの見積り承認（部会として）
・放映を 12 月 3 日に予定し、10 社が申込み済み
・10 月 29 日 SBS 静岡新聞社による説明会開催
・ポスターを各大学、公共機関などに掲示依頼予定
⇒ ポスターを関係大学、公共機関に送付し掲示をお願いする段取りになって

＊以上の各部会の報告の中で、セミナー、講座などの受講料に対する配慮について、
漆畑理事から下記の提案があり、協議が行われた。

（提案） セミナーや講座の受講料が、「ICT 会員」「一般会員」「非館員」別になっているが、会員拡大の観点からも、非会員を対象に ICT 会員の紹介枠のような設定をされたらいかがか？

（協議） ・SIIA 加入の動機付けに効果
・「紹介枠」、対象をどうするか
・「一般会員」にはさほどニーズはなく、「非会員」にはあると思われるので、非会員対象に考えたらどうか？
・事務局的には、会員拡大と受講者確保の観点で歓迎。コスト的には問題ない
・自社の顧客に ICT ベンダーの実情を知ってもらうことにも効果がある
・「交流会」会費で配慮したらどうか？
・イベントごとに受講料のランク付けを考慮したらどうか？
・部会でも検討いただきたい
・公開する内容とは別に、紹介社があれば割引をするなどの方法はどうか？
・一般会員に向けた配慮が必要ではないか
・一般会員への情報提供手段が弱いところも問題点
・一般会員も含め情報発信についての改善を進める必要がある（FAX も活用）
・この場で結論は出せないが、部会で継続的に検討していただきたい

2. 協議事項

（1） 次年度海外視察（継続協議）

1） 前回理事会での決定事

・中国深圳市を再度候補地として準備を進める
・他の候補地についても、ベトナム等適地があれば検討に加える
・開催日程も、多くの会員が参加しやすい時期を考慮して検討

2） その後の経過による協議（中国の国情など不確定要素）

3） その他の候補案について（ベトナム等）協議

（協議）
・本年度実施した、中国深圳市視察の評価は高いので、これを最優先に検討を進めつつ、中国の政情も視野に入れ、予備候補地も検討して行く
・そもそも、6月実施は費用が低廉という主旨でもあったと思うが、このことも含め、静鉄観光サービスにも相談し、より幅広い可能性を探る
（⇒ この意見により、10月31日に静鉄観光サービスの担当者と打合せを行い、今後情報提供を受けながら、視察先、視察可能性について絞り込んで行くことになった）

（2）会員拡大（各部会活動と連動してメンバー増強 ⇒ 会員増強に）

1）各部会活動の現状から増強に向けた活動に

・部会メンバーの増強も

2）「静岡市内ソフトウェア業」一覧の作成（焼津、藤枝、島田含む）

・静岡商工会議所からも要望 ⇒ 現行 74 社+96 社＝170 社

3）今後の活動案

a.「各社のイチ押し」（会員交流企画）により

・各企業の特性を認知することで互いのビジネスに活かす

・協会外にも広めていくことにより会員拡大につなげる

b.「ドローン向けソフトウェア開発」講座（セミナー）の打診済み

c. 各機関等とも連携（静岡商工会議所、経済振興財団 IoT 研究会）

（協議）「各社のイチ押し」については、浜松ソフト協会にならって、理事会開催日に前後の時間を利用して、「イチ押し」のような機会を設けたらどうか？
引き続き、開催に向けて検討いただきたい

3. 審議事項

（1）入会申込み（個人会員）に関する継続審議

前回の理事会で懸案となっていた個人会員の入会承認事項について、結果として全会一致による合意を得るに至らず、この件は非承認ということで議決した

（2）静岡商工会議所報「Sing」新年号名刺広告掲載の件

広告掲載料：16,250 円（税込） 例年掲載

全員異議なく承認された

4. 連絡事項

次回理事会：11 月 26 日（火） 16:00～17:00

会場：静岡商工会議所 401 会議室

ＮＰＯ法人静岡情報産業協会
令和元年度第６回理事会　事務局報告 補足資料

令和元年 10 月 29 日(火)

1.　静岡市・静岡県関係機関訪問(10 月 9 日)

(1)静岡市企画局

企画課の長島副主幹と面談し、長島副主幹にも同席いただき、改めて 10 月 21 日にICT 推進課を訪問し、同課淺場課長と情報化推進係久保田係長に挨拶の後、同課情報課推進係の新庄副主幹と面談し、市の ICT 推進政策について説明を受けるとともに、今後の SIIA との連携について話し合った。

従来より、Wi-Fi パラダイス事業、オープンデータ推進事業などを通じて同課と密接な交流はあったが、近年次第に間遠になっていたので、今回を機に、改めて情報共有と事業協力体制を構築していくことで合 意した。

その皮切りとして、10 月の理事会に新庄副主幹にオブザーブ出席いただき、そこで同課が目下推進している、「自治体連携・企業連携」事業等について説明いただくことになった。

https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000457.html

（２） 静岡県経営管理部

ICT 推進局 ICT 政策課小泉課長、同課加藤 ICT 政策班長、伊藤 ICT 政策班主任と懇談し、現在県では「自治体 Pitch」(地方自治体向けの 共同利用可能なシステム等プレゼンテーション)の取組みを検討しているところで、今後 SIIA にも県内ベンダーへの呼びかけと参加依頼したい旨の話があった。

＜自治体ピッチ(Pitch)＞

https://cio.go.jp/sites/default/files/uploads/documents/jichitaipitch_201909_1.pdf

https://cio.go.jp/jichitaipitch

（３） 静岡県産業振興財団

「IoT 研究会」事務局の長井経営支援グループ長と面談

同会の会員に登録している SIIA として、改めて連携の可能性について話し合い、当会も本年度開催予定の「RPA 講座」の情報公開などを通じて、引き続き情報共有を図りつつ進めて行くことになった。

（４） 静岡県国際経済振興会(SIBA)(パンフレットを置いてもらう)

（５） 静岡県中小企業団体中央会（佐塚事務局長にパンフレットを渡す）

2. 静岡理工科大学理工学部「ドローン用ソフトウェア開発技法」講演依頼

現在、無人航空機（ドローン）の発展が著しいが、我が国では、ドローンに関するソフトウェア技術者が不足しており、この辺の事情について SIIA を 通じて地元企業にもソフトウェア開発の底辺を広げる機会と捉えてもらえるようドローンが必要とするソフトウェアあるいは開発に必要な開発技法などについて勉強会を提案したところ、同大学機械工学科田村特任講師より「引 受け可能」との回答を得ている

3. 深圳市駐日経済貿易代表事務所 冷岡（ひやおか）倍華副所長とコンタクト開始

＜連絡記録＞

① 2019 年 7 月 31 日 礼状（冷岡副所長宛） 別紙参照

② 2019 年 10 月 8 日 メール発信（冷岡副所長宛）下欄参照

③ 2019 年 10 月 11 日 冷岡副所長宛に電話し、下記のコメントを得る

・今後の連絡は、電話でもメールでも構わない。

・現在、深圳の状況が慌ただしく、必ずしも期待に添えない可能性もあることを承知していただきたい。（以上、冷岡副所長）

＜冷岡副所長宛メール＞ 2019/10/08

先般のお礼状にも書きました通り、本年の 6 月に、私どもの視察団が無事に所期の目的を果たし無事に帰国しましたことに、改めて冷岡副所長はじめ関係各位のご尽力の賜物と厚く御礼申し上がます。

その後、当協会の理事会におきまして、来年度の海外視察事業について協議したところ、多くの理事から「今年参加できなかった各社の社員の皆さんにも、本年度の視察事業と同じ体験をしてもらったら如何か」という声が多く、未だ結論ではありませんが、深圳市を視察先にする案が最有力となっております。

それに加え、本年度の視察日程が、多くの参加社を迎えることができなかったことの反省により、実施時期を 6 月から 11 月の間の幅広い候補を挙げて、できる限り多くの参加社を募りたいとも考えております。

今回の視察で、視察団のメンバーから好評を得た理由の一つに、深圳市中日経済文化交流促進会秘書長の黄旭様の存在が大きかったとの声があります。

つきましては、視察にあたって黄旭秘書長様のご助力を再び頂くことが私たちの希望するところであります。

以上、一方的なお願いで不躾かとは存じますが、何卒今後引き続き私共静岡情報産業協会へご支援・ご協力賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。